共　通　事　項

(1) 本仕上表の表記
1) 項目は、・印の付いたものを適用する。
・印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
・印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
2) 記載の（○－○○－○）内の数字は建築工事標準詳細図（令和4年版）の詳細番号を示す。
3) 略号は下表による。

略　語	仕上材等	略　語	仕上材等
RC(　)	コンクリート打放し(種別)	SOP	合成樹脂調合ペイント塗り
CB	コンクリートブロック積み	EP	合成樹脂エマルションペイント塗り
FS	積層ビニル床シート	EP-T	合成樹脂エマルションペイント模様塗料塗り
KT	コンポジションビニル床タイル	EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント塗り
KT(E)	帯電防止コンポジションビニル床タイル	NAD	アクリル樹脂系非水分散形塗料塗り
FT	複層ビニル床タイル	DP	耐候性塗料塗り
FOA	置敷きビニル床タイル	WP	木材保護塗料塗り
FOB	薄型置敷ビニル床タイル	CL	クリヤラッカー塗り
VB	ビニル幅木	UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
WB	木製幅木	OS	オイルステイン塗り
GB-R	せっこうボード	S-PR	せっこうプラスター塗り
GB-NC	不燃積層せっこうボード（化粧無し：下地張り用）	D-PR	ドロマイプラスター塗り
GB-NC(T)	不燃積層せっこうボード（化粧有り：トラバーチン模様）		
GB-D	化粧せっこうボード		
GB-S	シージングせっこうボード		
GB-F	強化せっこうボード		
ケイカル板	けい酸カルシウム板(タイプ2)		
ケイカル板(P)	吸音用穴あき無石綿セメントけい酸カルシウム板		
DR	ロックウール化粧吸音板(フラットタイプ)		
DR(凸凹)	ロックウール化粧吸音板(凸凹タイプ)		
DR(軒天)	ロックウール化粧吸音板（軒天井用：フラットタイプ）		
DR(軒天凸凹)	ロックウール化粧吸音板（軒天井用：凸凹タイプ）		
PF板	押出法ポリスチレンフォーム断熱材		
RW-B	ロックウールガラスクロス張り		
GW-B	グラスウールガラスクロス張り		

RC（　）において、床についてはコンクリート直均し（種別）とする。
4)特記以外の鉄鋼面、亜鉛めっき鋼面は、SOP（F☆☆☆☆）とする。
5)特記以外の建物内部の木部は、EP-G（水系）とする。ただし、和室まわりは塗装なしとする。
6)備考欄の「測定対象室（ ）」は特記仕様書の「室内空気中の化学物質の濃度測定」を行う対象室を示し、（ ）内数値は測定箇所数を示す。

外　部　仕　上　げ

床	・コンクリート直均し仕上げ (1-01-3)(増打厚さ ※10mm ・　　) 施工箇所（ ⊙タイル張り仕上げ (1-01-6)(増打厚さ ※10mm ・　　) 施工箇所（　　） ・天然石（ひき石）(1-01-9) 施工箇所（　　） ・	
壁・柱・梁	※RC(B)増打厚さ20mm (2-02-8～11)(※出隅面取り20mm ・出隅角面取20×20mm）のうえ ・複層塗材（　）　・外装薄塗材（　）　・塗装なし　・ ・外装タイル密着張り (2-01-4) ・外装タイルマスク張り (2-01-7) ⊙磁器質タイル改良圧着張り (2-01-6)	
腰	※壁・柱・梁に同じとする ・	
屋　根	※下地コンクリート直均し仕上げのうえ ⊙アスファルト防水 (A-2)、保護コンクリート直均し仕上げ、伸縮目地 ⊙アスファルト防水 (AI-2)、保護コンクリート直均し仕上げ、伸縮目地 ・アスファルト防水 (D-2)	
軒　天	・	
庇	上端（　　）はな（　　）下端（　　）	
	⊙屋上パラペット	・コンクリート笠木：保護防水 (・5-01-3　・5-02-3) ・コンクリート笠木：露出防水 (・5-03-1　・5-04-1　・5-05-1) ⊙アルミニウム笠木：保護防水 (・5-01-1　・5-01-5　⊙5-01-7 ・5-02-1・5-02-5・5-02-7) ・アルミニウム笠木：露出防水 (・5-03-2・5-04-2・5-05-2)
	⊙塔屋取合い	・コンクリート笠木 (・5-01-4　・5-02-4　・5-03-3　・5-04-3　・5-05-3) ⊙アルミニウム製水切(⊙5-01-2　・5-01-6　・5-03-4)
	・屋上点検口	※(5-21-1：ステンレス製ふた)　・
	・屋上換気口	※(5-21-2)　・
	・屋上管類取出し口	※(5-22-1)　・
	⊙屋上基礎	⊙(5-22-2)　・(5-22-3)　・
	・煙突	※煙突用成形ライニング材 (7-21-1) 径(　　)mm 天板（※有り ・無し） ・ボイラー用　・冷温水発生機用　・自家用発電機用 ・コジェネレーションシステム用　・ 煙突用成形ライニング材の適用安全温度（　　）℃ ・
	⊙雨とい及びルードレン	※鋼管とい (5-32-1) 径(　　)mm ・横型　⊙たて型
	⊙タラップ	⊙(8-31-1)　・(8-31-2)　※安全ｶﾞｰﾄﾞ付 (8-31-3)　・
	・屋上手すり	※(5-23-1)　・
	⊙庁名文字	⊙(8-41-1)　・
	⊙くつふきマット	※排水付き (8-21-2)　・排水なし (8-21-1) ・泥だまり、排水付き (8-21-3)
	・くつ洗い流し	・一槽型 (8-22-1)　・二槽型 (8-22-2)
	・ウッドデッキ	・(8-12-3)・(8-12-4)・図示による

内　部　仕　上　げ

下地の区分欄の略号	C：コンクリート下地、 ALC下地、押出成形セメント板下地　CB：コンクリートブロック下地 S：軽量鉄骨下地 W：木造下地　　FA1：フリーアクセスフロア(H100) FA2：フリーアクセスフロア(H300)

床

特記以外の下地及び詳細番号は下表による。

仕上げ種別	詳細番号
FS,KT,FT	(1-01-4)(増打厚さ ※10mm ・　)RC
タイル	(1-01-6)(増打厚さ ※30mm ・　)RC
カーペット	(1-02-4又は5)
畳	(1-02-3)(・ポリスチレンフォーム床下地t=(40)を省略する)
天然木化粧複合フローリング	(1-02-8又は9)
RC、床用塗料、防塵用塗料	(1-01-3)(増打厚さ ※10mm ・　)RC
モルタル、防水モルタル	(1-01-1) 防水モルタル厚さ ※15mm　・30mm　・

(1) フリーアクセスフロア下地の場合は(1-02-14 ：防塵用塗料 ※無 ・有)とする。

幅　木

特記以外の下地及び詳細番号は下表による。

仕上げ種別	高さ(mm)	詳細番号
VB	※60　・75　・100　・	(2-11-1)(2-11-9)
WB（樹種　※杉・　）	※60　・75　・100　・	(2-11-4)(2-11-10) CL仕上げ
FS（ビニル床シート立ち上げ）	※60　・75　・100　・	(2-11-2 :アルミ製ジョイナー)

壁・柱

特記以外の下地及び詳細番号は下表による。

仕上げ種別	詳細番号
ボード張り(又は 下地)	(2-03-6又は7)(G L 工法　接着材の厚さ ※11～13mm)
ボード張り（軽量鉄骨壁下地：一般壁）	(2-22-1)(2-24-5,6：継目処理の場合)
ボード張り（軽量鉄骨壁下地：一般壁）	(2-23-1)(2-24-5,6：継目処理の場合)
内装タイル(又は 下地)	(2-01-2)
モルタル	(2-02-12)
吸音材張り(又は 下地)	(2-02-13)
地下二重壁	(2-41-1)

特記以外のボード類は下表による。

種別	厚さ（mm）	備　考
GB-R	12.5	塗装仕上げ及び、壁紙張りの場合は継目処理 (2-03-6又は7)(2-03-10又は11) ただし、仕上げ等行わない場合は突き付け (2-03-9)(2-03-13)とする。 （二重張りは特記無き限り下張りは上張りと同厚のボードとする。）
ケイカル板	8	突付け（V目地）(2-03-17：下地張りはGB-S) (2-03-12：下地張りは ⊙GB-S　・ケイカル板)

(1) 特記以外のコンクリート打放しの出隅面取りは10mmとする。（梁型とも）
(2) 特記以外の下がり壁 (3-12-1 ※塩ビ製見切縁　・アルミ製見切縁）の仕上げは壁と同じとする。ただし下地張りは無しとする。
(3) 軽量鉄骨下地とRC又はCB下地のボード壁との取合いは(2-24-4又は7 ※目透し ・継目処理)とする。
(4) ボード壁とサッシ取合いは (2-24-8)とする。
(5) 押入れ (6-46-1)の壁はGB-R厚さ12.5mm塗装なし突付けとする。
(6) 化粧ケイカル板を使用する場合の目地処理は
（・目地シーリング工法　・アルミジョイナー工法　・　　）とする。
(7) 特記なき限り、室内に露出するRC柱の仕上げはRC(B)の上EPとする。

天　井

特記以外のボード類は下表による。

仕上げ種別	厚さ（mm）	詳細番号
DR(フラットタイプ)	・9　⊙12	⊙(3-01-4)　・
DR (凹凸タイプ)	・12　・15	・(3-01-4)　・
ケイカル板	⊙6	⊙(3-01-2)　・
GB-NC(T)	⊙9.5	⊙(3-01-2)　・
RW又はGW張り	⊙25	⊙(3-01-12)　・

(1) 軽量鉄骨天井下地は (3-21-1,2)(3-21-3)(3-41-1,2)(3-42-1,2)とする。
(2) 押入れ (6-46-1)の天井はGB-R厚さ12.5mm塗装なし突付けとする。
(3) 壁～天井の取合いは天井付き目地 (3-11-3,4,7,8 ※塩ビ製見切縁 ・アルミ製見切縁) とする。
(4) D R の下張りは ※GB-R12.5mm　・GB-NC9.5mmとする。
(5) GB-NC(T)の大きさは ※910×455mm　・910×910mmとする。
(6) 塗装仕上げ及び壁紙張りの場合はGB-R厚さ12.5mm（継目処理）とする。
(7) 外部のDR（軒天)の下地張りはGB-S厚さ12.5mmとする。

⊙断熱材	種　別 ※PF板打ち込み　・現場発泡断熱材 窓まわりなどの補修材は現場発泡断熱材とする。 施工範囲 外壁　※内面がGB-R張り（GL工法）の床面から梁型下端まで（階段は除く）の部分 (7-01-2) ・図示による スラブ　⊙土層接地スラブ下面（機械室、電気室、自家発電機室は除く及び図示の範囲 (7-01-2)(ただし、屋根スラブ下面を除く) ・図示による
⊙雨とい及び掃除口	※鋼管とい (5-32-1,2) ・
⊙カーテンボックス及びブラインドボックス	※アルミニウム製 (3-31-3)　・木製 (3-32-1) ・
⊙階段手すり	※集成材 (7-12-2～4,8)　・ ・ビニル製 (7-12-5～7：通しのFBは38×9.0とする)
・トラフ	・しま鋼板SOP、EP-G又は溶融亜鉛めっき (1-21-3) ・ビニル床タイル (1-21-4)　・
⊙トイレブース	※既製品（へだての補強が必要な場合には、製造所の仕様による)
⊙便所手すり	※(6-23-1～3) 6-25-1)(6-26-1～3)　・
・便所防水	※塗膜防水 (1-31-2)　・
⊙流し台およびコンロ台	⊙(6-11-1)　・図示による
⊙流し上部水切り	⊙奥行き55mm (6-11-3)　・奥行き(　　mm)(6-11-4)
⊙吊戸棚	⊙(6-11-5)　・図示による
⊙フード	⊙(6-11-2)　・図示による
・和室出入口	※(6-42-1,2)　・(6-41-1)　・(6-41-2～5)　・図示による
・押入れ	※(6-46-1 ※天袋なし　・天袋あり))　・図示による
⊙くつふきマット	※排水付き (8-21-2)・排水なし (8-21-1) ・泥だまり、排水付き (8-21-3)
⊙タラップ	※(8-31-1)・
・表示標識	・(8-42-1)　・(8-42-2)　・(8-43-1)　・(8-43-2)　・(8-43-3) ・(8-44-1)　・(8-44-2)　・(8-44-3)　・(8-44-4)
⊙木製受付カウンター	※(8-11-1)　⊙図示による
・コーナーカウンター	※(8-11-2)　・図示による
・木製コーナーガード	・(8-12-1)　・図示による
・木製腰壁	・(2-12-1)　・(2-12-2)　・図示による

階	室名	床下地	床仕上	幅木下地	幅木	壁下地	壁仕上	内装制限(壁)	天井下地	天井仕上	内装制限(天井)	天井高	排煙区画区分及び告示	備考
1FL														
	DS	C	–	–	–	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	-	–	–	-	直天	令126条の2第1項第3号	
	EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-	直天	令126条の2第1項第3号	
	PS	C	–	–	–	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	–	–	不燃	直天	へ (2)	
	SK	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S	VB	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ (2)	
	エントランスホール	C	磁器質タイル	C; S	スチール幅木	C; S	GB-R+天然木化粧リブパネル	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700一部3100	自然排煙	
	事務室1-1	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	事務室1-2	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	スチールパーティション
	事務室1-3	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	共用倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	直天	へ (2)	
	共用倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	直天	へ (2)	
	共用倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2700	へ (2)	
	女子便所	C	FS	C; S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	庁務員室	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃(下地共)	2400	へ (5)	
	庁舎管理室	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃(下地共)	2400	へ (5)	
	廊下	C	FS	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙	
	機械室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C	VB	C; S	RC(C)	準不燃	C	GW-B	準不燃	直天	へ (1)	
	消火ポンプ/消火タンク室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C	VB	C	RC(C)	不燃	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃	直天	へ (2)	
	湯沸室	C	FS	C; S	VB	C; S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	流し台、フード、吊戸棚
	男子便所	C	FS	C; S	VB	C; S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	給油口BOX	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C	モルタル塗りの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-	直天	へ (2)	
	署長室	FA1	タイルカーペット	C; S	WB	C; S	二重張GB-Rの上壁紙	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	車椅子使用者用便房	C	FS	C; S	VB	C; S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	階段室A	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃(下地共)	2300	令126条の2第1項第3号	
	階段室B	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃(下地共)	2300	令126条の2第1項第3号	
	電算室	FA2	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-R下地張DR	不燃	2500	へ (2)	
	風除室	C	磁器質タイル	C; S	磁器質タイル	C; S	磁器質タイル	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	3100	自然排煙	

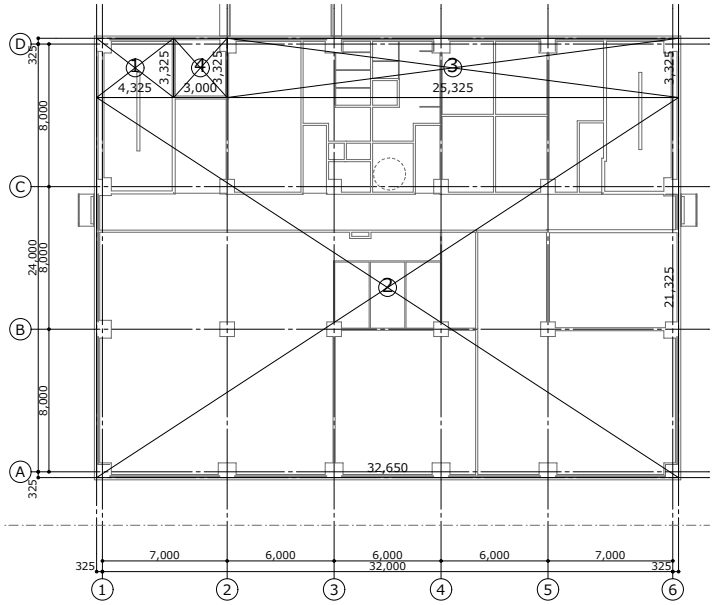
(設計者等表示欄)

R6官庁営繕BIM建築工事		A-020
仕上表-1	S=A1: A3: R6年版	
国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX

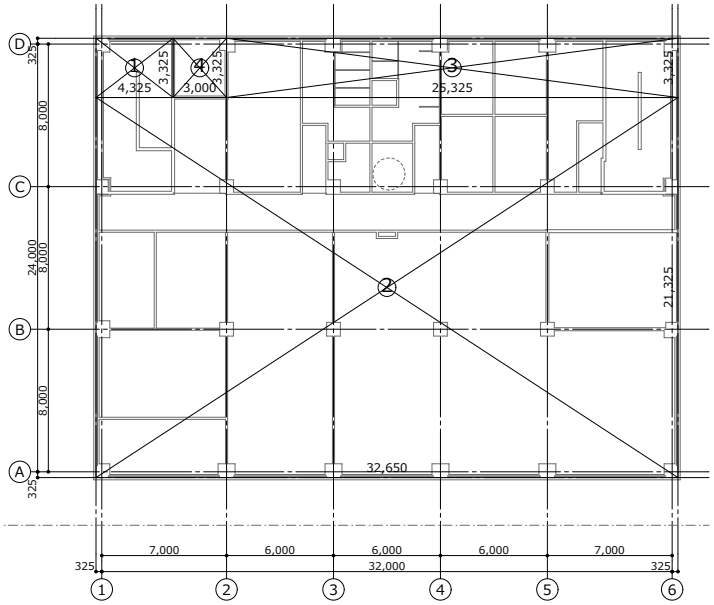
階	室名	床下地	床仕上	幅木下地	幅木	壁下地	壁仕上	内装制限(壁)	天井下地	天井仕上	内装制限(天井)	天井高	排煙区画区分及び告示	備考
2FL														
	DS	C	–	–	–	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	-	–	–	-	2400	令126条の2第1項第3号	
	EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-	直天	令126条の2第1項第3号	
	EVホール	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙	
	PS	C	–	–	–	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	–	–	不燃	直天	へ (2)	
	SK	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S	VB	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ (2)	
	事務室2-1	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	会議室2-1	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃(下地共)	2700	へ (5)	
	会議室2-2	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃(下地共)	2700	へ (5)	
	会議室2-3	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃(下地共)	2700	へ (5)	
	会議室2-4	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃(下地共)	2700	へ (5)	
	会議室2-5	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2700	へ (2)	
	共用会議室	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	女子休憩室	C	FS	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-NC(T)	不燃(下地共)	2400	へ (5)	
	女子便所	C	FS	C; S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	女子更衣室	C	FS	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ (2)	
	廊下	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙	
	機械室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C	RC(C)	不燃	C	GW-B	不燃	直天	へ (2)	
	湯沸室	C	FS	C; S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	流し台、フード、吊戸棚
	男子休憩室	C	FS	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-NC(T)	不燃(下地共)	2400	へ (5)	
	男子便所	C	FS	C; S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	男子更衣室	C	FS	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ (2)	
	耐火書庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-NC(T)	準不燃	2700	へ (1)	
	車椅子使用者用便房	C	FS	C; S	VB	C; S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	階段室A	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃(下地共)	2300	令126条の2第1項第3号	
	階段室B	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃(下地共)	2300	令126条の2第1項第3号	
3FL														
	EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-		令126条の2第1項第3号	
	EVホール	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙	
	PS	C	–	–	–	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	–	–	不燃		へ (2)	
	SK	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S	VB	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ (2)	
	事務室3-1	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃(下地共)	2700	へ (5)	
	事務室3-2	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	事務室3-3	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	事務室3-4	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	共用会議室	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	女子便所	C	FS	C; S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	廊下	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙	
	機械室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C	RC(C)	不燃	C	GW-B	不燃	直天	へ (2)	
	湯沸室	C	FS	C; S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	流し台、フード、吊戸棚
	男子便所	C	FS	C; S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	車椅子使用者用便房	C	FS	C; S	VB	C; S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	階段室A	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃(下地共)	2300	令126条の2第1項第3号	
	階段室B	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃(下地共)	2300	令126条の2第1項第3号	
4FL														
	EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-	直天	令126条の2第1項第3号	
	EVホール	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙	
	PS	C	–	–	–	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	–	–	不燃	直天	へ (2)	
	SK	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	S	VB	S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ (2)	
	事務室4-1	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	事務室4-2	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	事務室4-3	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃(下地共)	2700	へ (5)	
	会議室4-1	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃(下地共)	2700	へ (5)	
	共用会議室-1	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	共用会議室-2	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-R下地張DR	不燃(下地共)	2700	へ (5)	
	共用倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2700	へ (2)	
	女子休憩室	C	FS	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-NC(T)	不燃(下地共)	2400	へ (5)	
	女子便所	C	FS	C; S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	女子更衣室	C	FS	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ (2)	
	廊下	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2300	自然排煙	
	支局長室	FA1	タイルカーペット	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	準不燃	S	GB-R下地張DR	準不燃	2700	自然排煙	
	機械室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C	RC(C)	不燃	C	GW-B	不燃	直天	へ (2)	
	湯沸室	C	FS	C; S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	流し台、フード、吊戸棚
	男子休憩室	C	FS	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	S	GB-NC(T)	不燃(下地共)	2400	へ (5)	
	男子便所	C	FS	C; S	VB	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	男子更衣室	C	FS	C; S	VB	C; S	二重張GB-Rの上EP	不燃	S	GB-NC(T)	不燃	2400	へ (2)	
	車椅子使用者用便房	C	FS	C; S	VB	C; S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃	S	ケイカル板の上EP-G	不燃	2400	へ (2)	
	階段室A	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃(下地共)	2300	令126条の2第1項第3号	
	階段室B	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃(下地共)	2300	令126条の2第1項第3号	
5FL														
	EPS	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	-	C	コンクリート打放し(C)の上EP	-	直天	令126条の2第1項第3号	
	PS	C	–	–	–	S	GB-S、ケイカル板の上EP-G	不燃		–	不燃	直天	へ (2)	
	倉庫	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	不燃	C	GB-NC(T)	不燃	2500	へ (2)	
	階段室B	C	FS	C; S	VB	C; S	モルタル塗りの上EP; 二重張GB-Rの上EP	不燃(下地共)	C	コンクリート打放し(C)の上EP	不燃(下地共)	直天	令126条の2第1項第3号	
	電気室	C	弾性ウレタン樹脂系塗床材	C; S	–	C	RC(C)	不燃	C	GW-B	不燃	直天	へ (2)	

(設計者等表示欄)

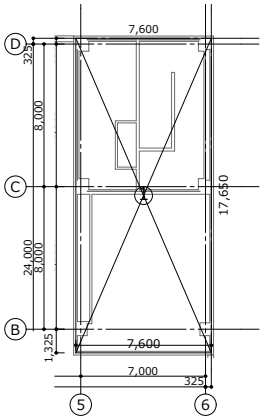
R6官庁営繕BIM建築工事		A-021
仕上表-2	S=A1: A3: R6年版	
国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX



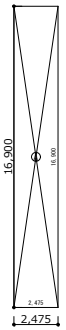
02 2階平面図
A1=1:150



02 4階平面図
A1=1:150



05 5階平面図
A1=1:150



06 駐輪場求積図
A1=1:150

本体建物各階面積　求積表

5階

記号	計算式	面積
①	7.600×17.650	134.140
	合計	134.140

4階

記号	計算式	面積
①	4.325×3.325	14.380
②	32.650×21.325	696.261
③	25.325×3.325	84.205
④	3.000×3.325	9.975
	合計	804.821

3階

記号	計算式	面積
①	4.325×3.325	14.380
②	32.650×21.325	696.261
③	25.325×3.325	84.205
④	3.000×3.325	9.975
	合計	804.821

2階

記号	計算式	面積
①	4.325×3.325	14.380
②	32.650×21.325	696.261
③	25.325×3.325	84.205
④	3.000×3.325	9.975
	合計	804.821

1階

記号	計算式	面積
①	3.000×3.325	9.975
②	4.325×3.325	14.380
③	32.650×21.325	696.261
④	25.325×3.325	84.205
	合計	804.821

駐輪場面積　求積表

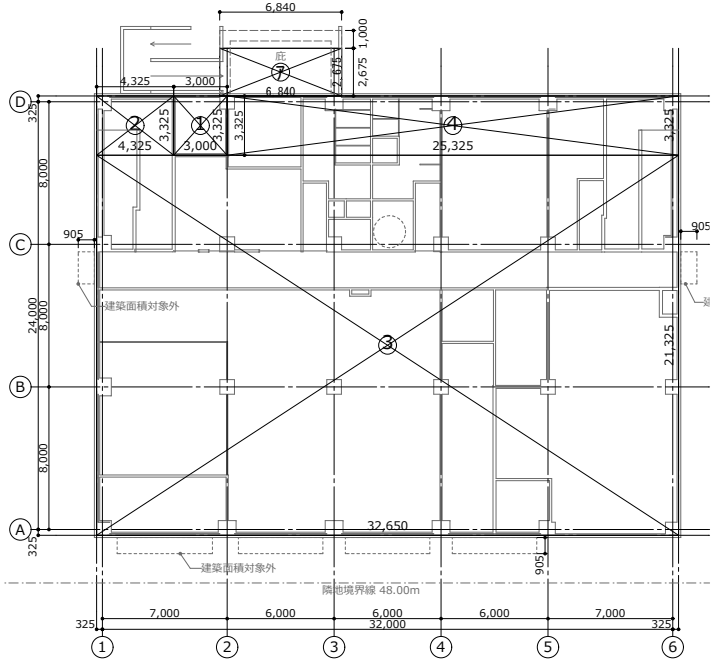
Z3(駐輪場)

記号	計算式	面積
Ⓐ	2.475×16.900	41.827
	合計	41.827

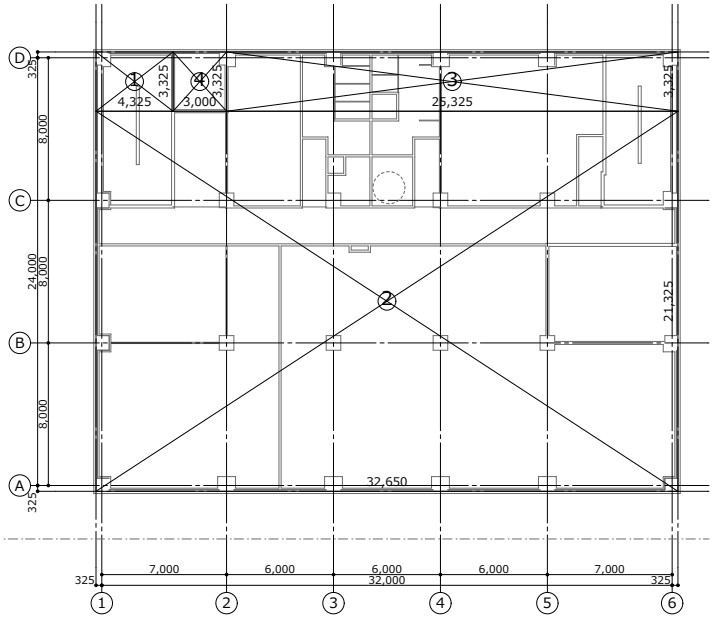
本体建物庇部分面積　求積表

Z2(庇)

記号	計算式	面積
⑦	6.840×2.675	18.297
	合計	18.297



02 1階平面図
A1=1:150



02 3階平面図
A1=1:150

建築基準法床面積			
本体	延べ面積（㎡）	容積対象外面積（㎡）	容積対象面積（㎡）
5FL	134.14	0.00	134.14
4FL	804.82	9.97	794.85
3FL	804.82	9.97	794.85
2FL	804.82	9.97	794.85
1FL	804.82	9.97	794.85
	3353.42	39.88	3313.54
駐輪場	41.82	41.82	0.00
	41.82	41.82	0.00
合計	3395.24	81.70	3313.54

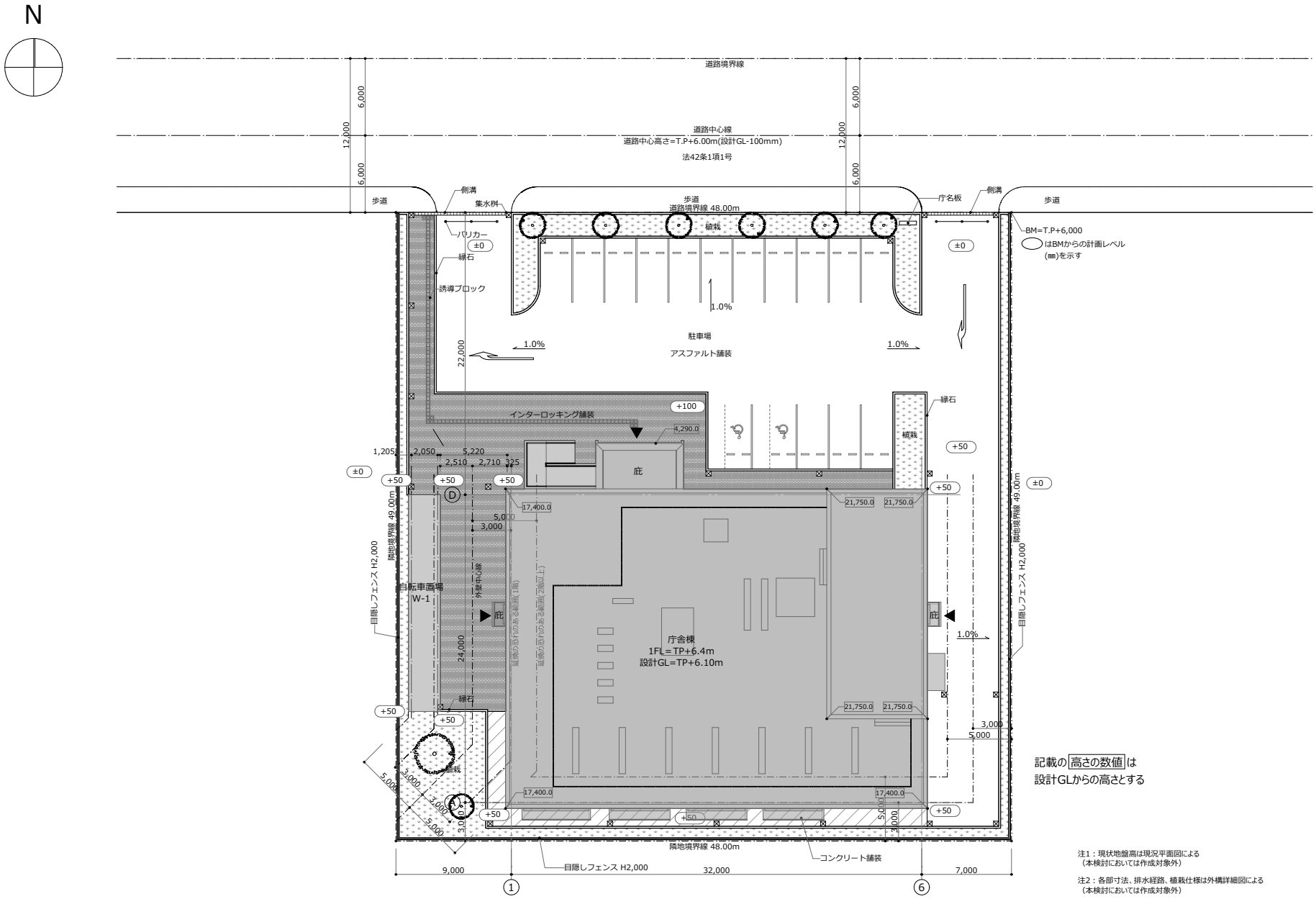
建築基準法建築面積	
	建築面積
庇	18.29
本体	804.82
	823.11
駐輪場	41.82
	41.82
合計	864.93

国有財産法床面積	
本体	延べ面積（㎡）
5FL	134.14
4FL	804.82
3FL	804.82
2FL	804.82
1FL	804.82
	3353.42
駐輪場	41.82
	41.82
合計	3395.24

国有財産法建築面積	
	建築面積
本体	804.82
	804.82
駐輪場	41.82
	41.82
合計	846.64

(設計者等表示欄)

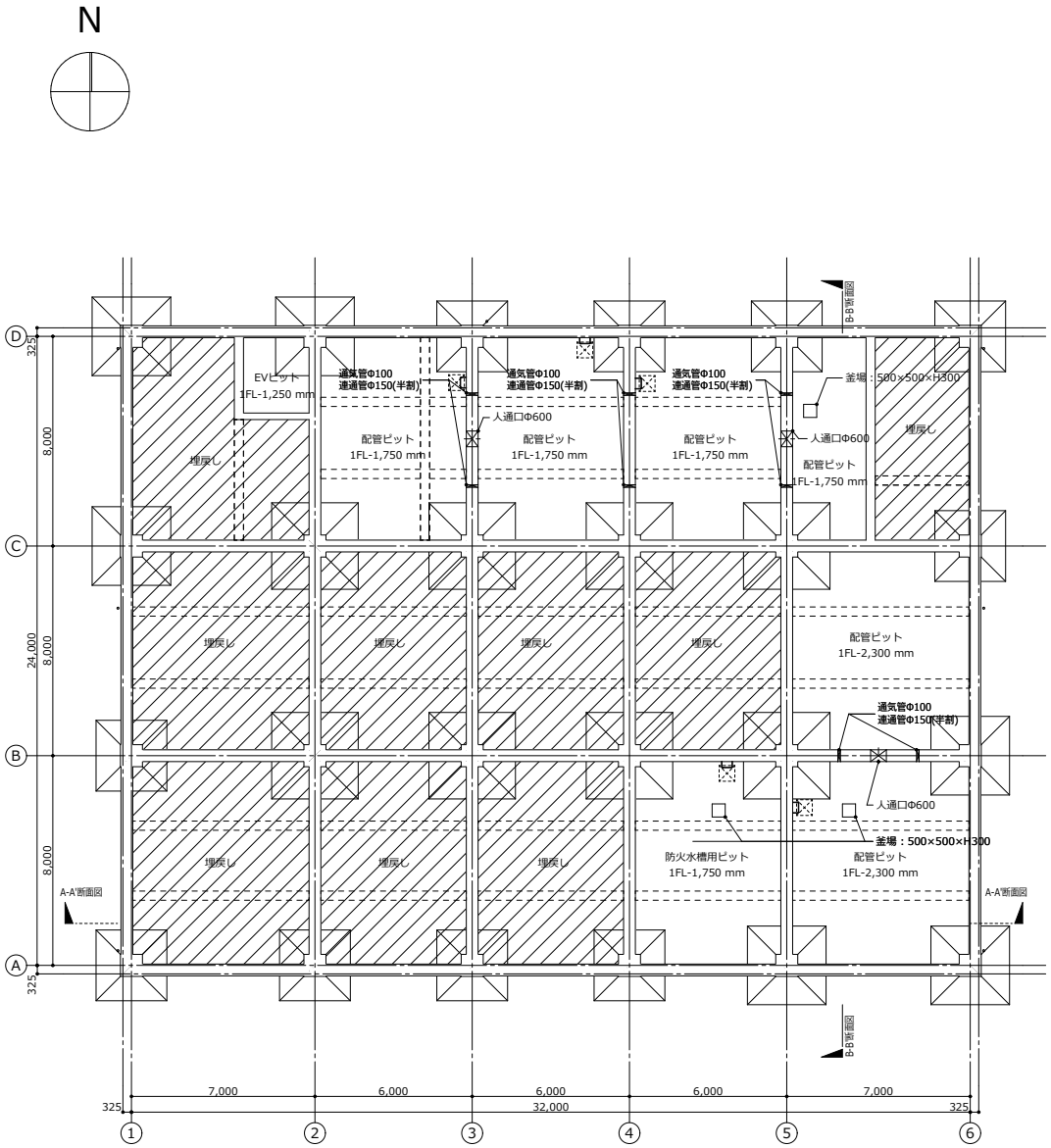
R6官庁営繕BIM建築工事		A-031
求積図	S=A1:1/150 A3:1/300	R6年版
国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX



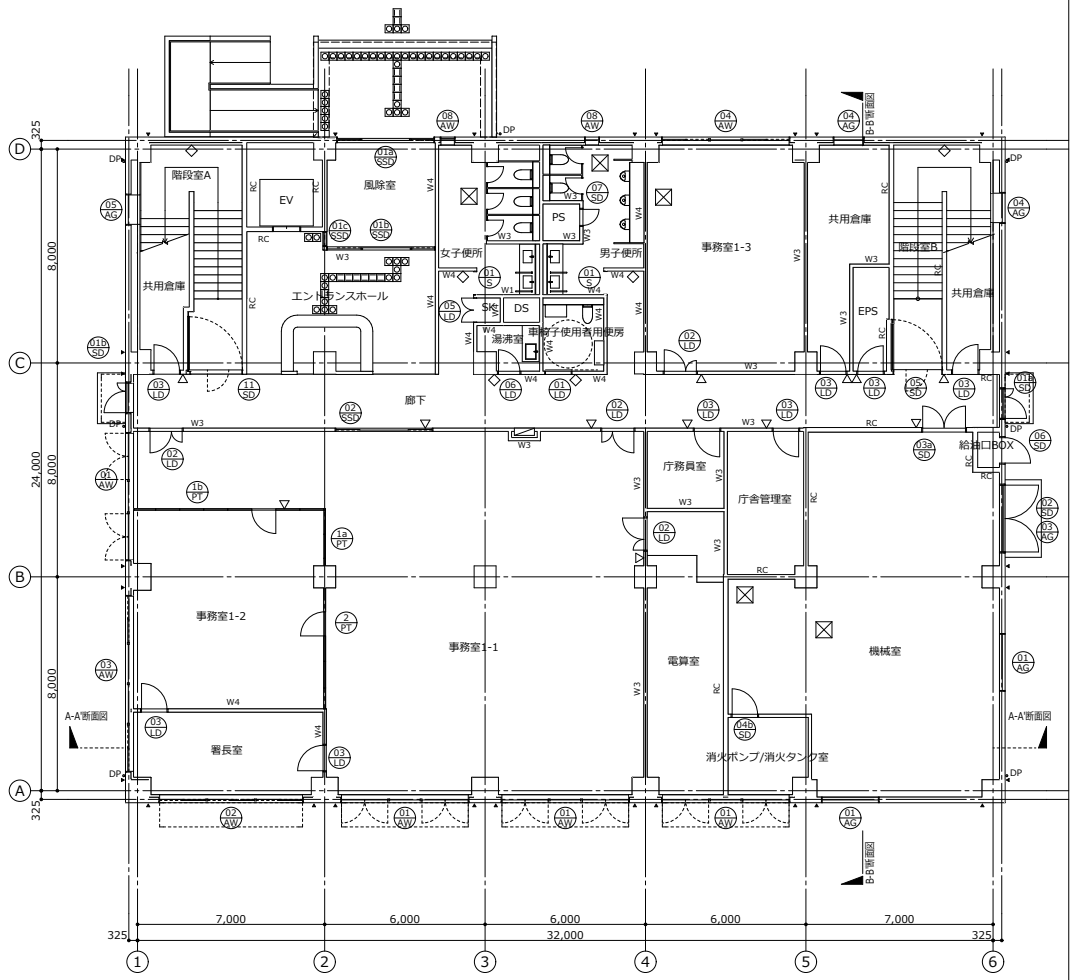
注1：現状地盤高は現況平面図による
（本検討においては作成対象外）

注2：各部寸法、排水経路、植栽仕様は外構詳細図による
（本検討においては作成対象外）

(設計者等表示欄)	R6官庁営繕BIM建築工事		A-100
	配置図 S=A1:1/150 A3:1/300	R6年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX

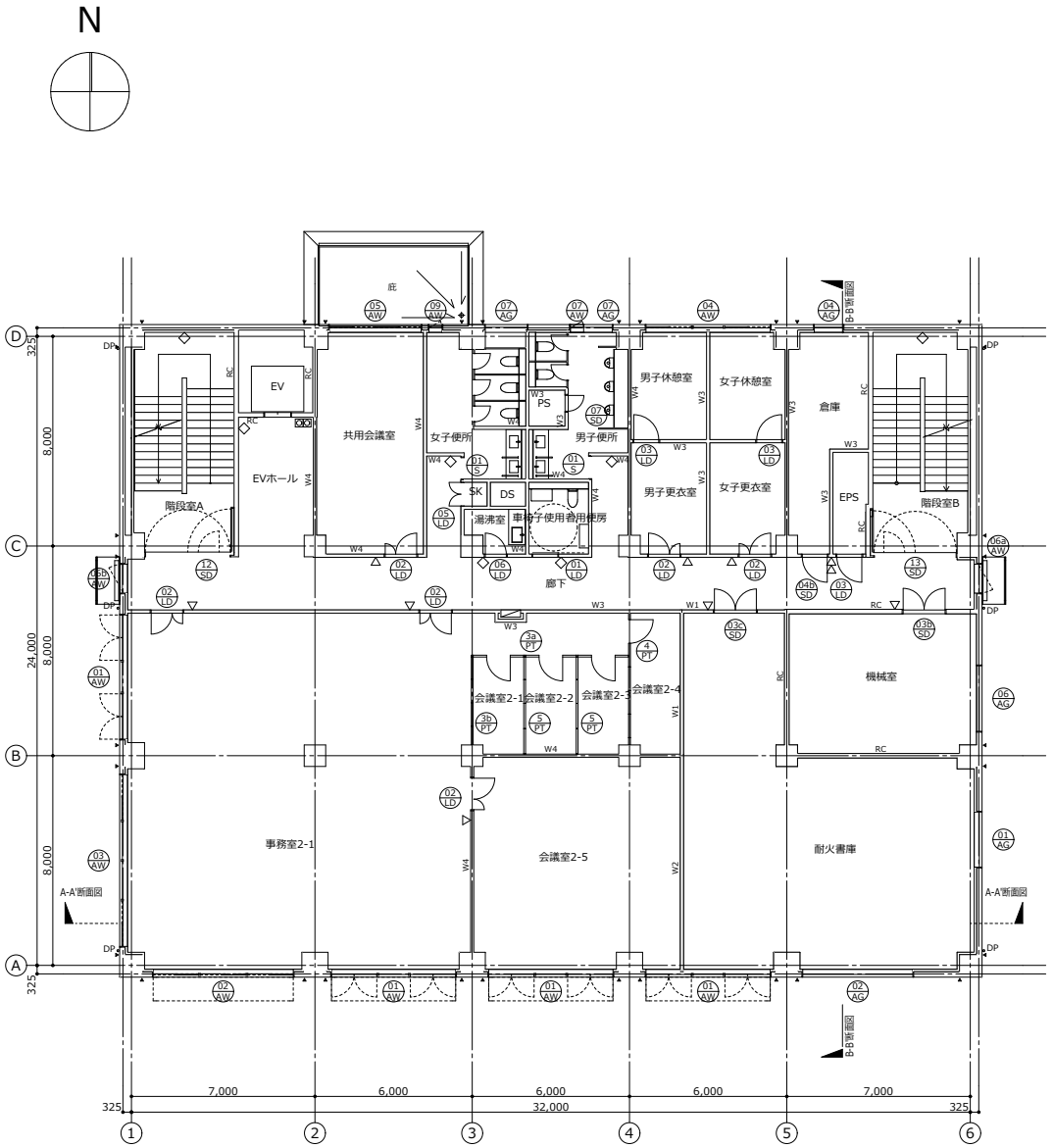


01 ピット階平面図

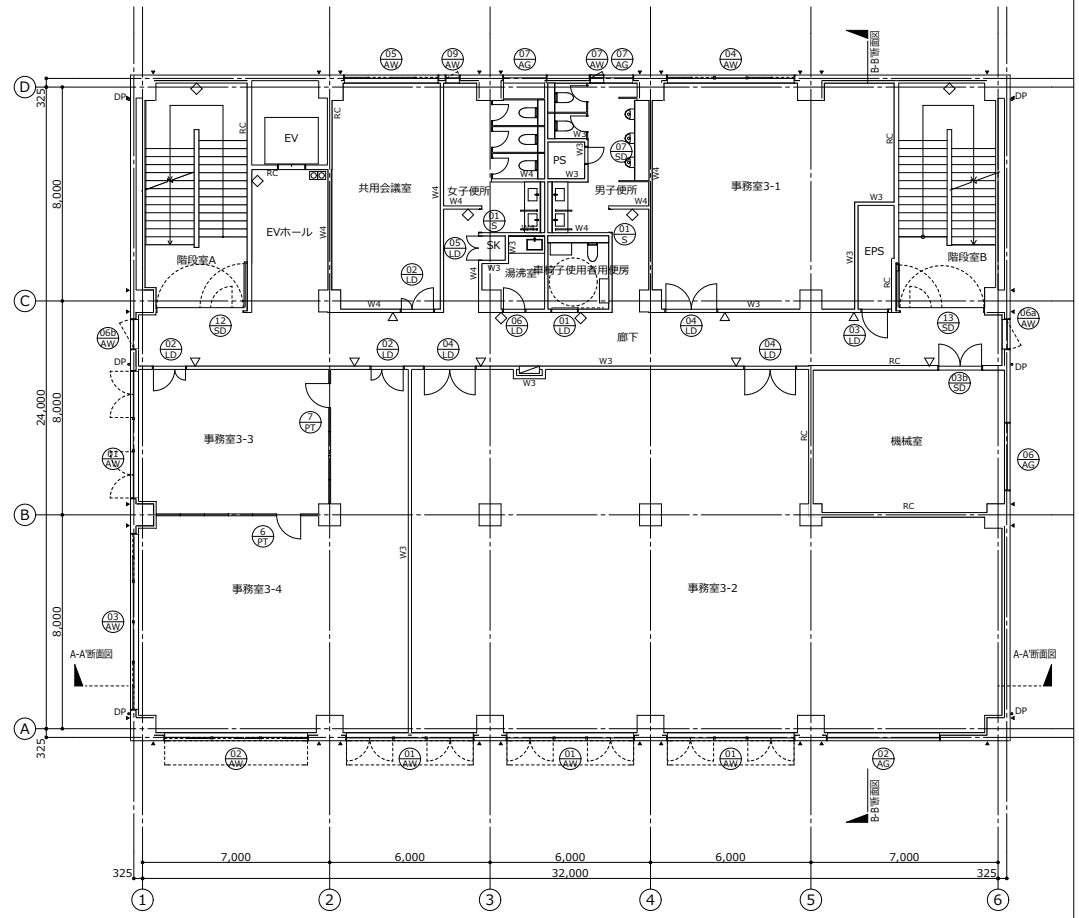


02 1階平面図

凡例												
	W1	LGS壁乾式1時間耐火	W5	GL工法(外壁の仕上内壁はW5とする)	▽	室名札(8-43-3)	○DP	たてどい Φ75	⊠	床点検口	(設計者等表示欄)	R6官庁営繕BIM建築工事 A-101
	W2	LGS壁乾式1時間耐火(遮音壁)	RC	RC	◇	ピクトサイン	□	線状ブロック	⊠	ステンレス製タラップ W400 4段		ピット階・1階平面図 S=A1:1/100 A3:1/200 R6年版
	W3	LGS+ボード2枚張	PT	スチールパーティション	⊠	消火器ボックス	○	点状ブロック				国土交通省大臣官房官庁営繕部 XXX
	W4	LGS+ボード2枚張(遮音壁)	一般壁：LGSはスラブ-スラブ、ボードはスラブ-天井とする 遮音壁・耐火壁：LGS・ボード共にスラブ-スラブとする		⊕	ルーフドレン	外部建具と内部乾式壁との取合い部はバックボード塞ぎ又はスチール部材による塞ぎとし、詳細は別詳細図による。					



01 2階平面図

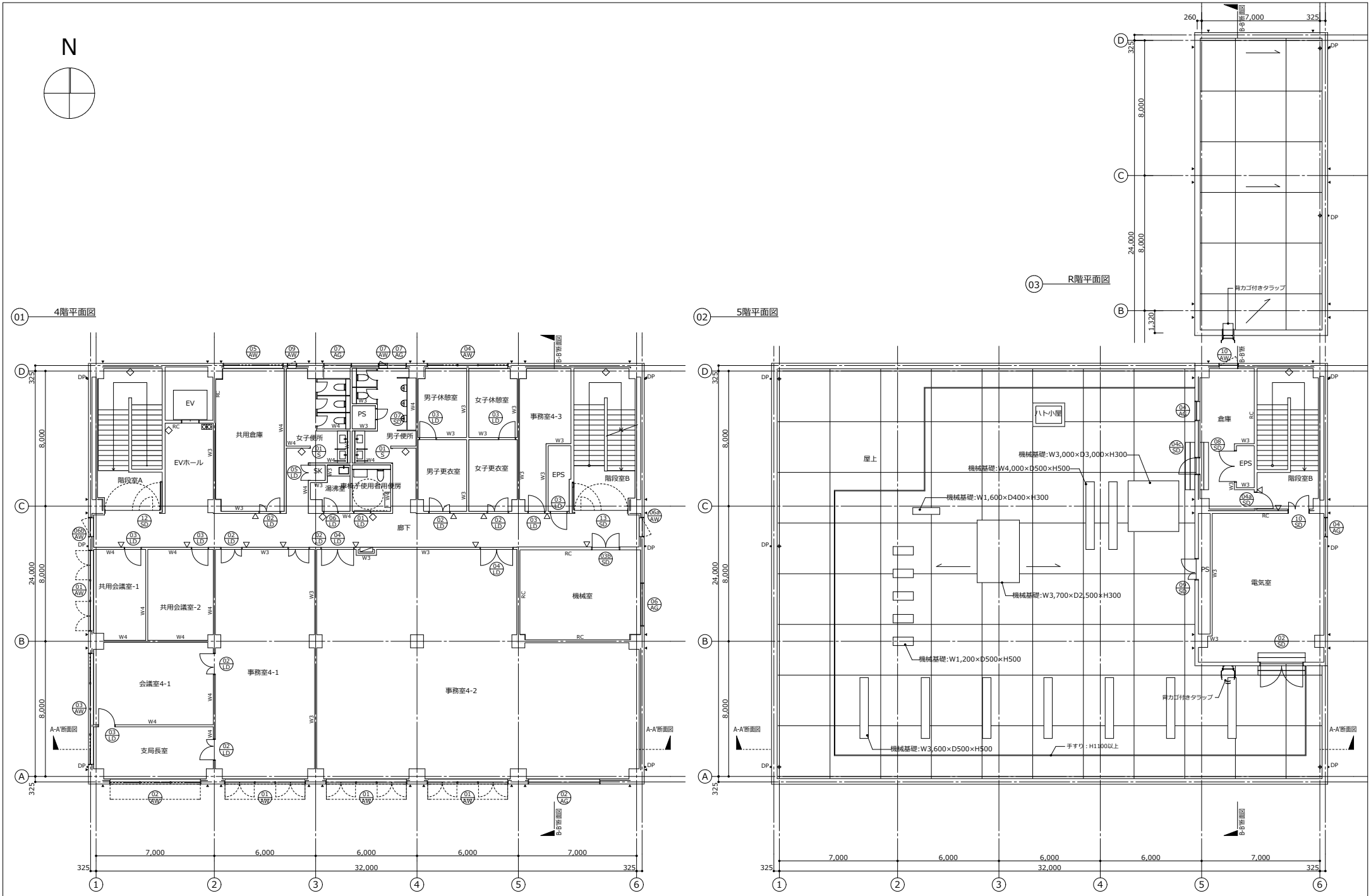


02 3階平面図

凡例												
	W1	LGS壁乾式1時間耐火	W5	GL工法(外壁の仕上内壁はW5とする)	▽	室名札(8-43-3)	○DP	たてどい Φ75	☒	床点検口		
	W2	LGS壁乾式1時間耐火(遮音壁)	RC	RC	◇	ピクトサイン	□	線状ブロック	▨	ステンレス製タラップ W400 4段		
	W3	LGS+ボード2枚張	PT	スチールパーティション	⊠	消火器ボックス	○	点状ブロック				
	W4	LGS+ボード2枚張(遮音壁)	一般壁：LGSはスラブ-スラブ、ボードはスラブ-天井とする 遮音壁・耐火壁：LGS・ボード共にスラブ-スラブとする		⊕	ルーフドレン	外部建具と内部乾式壁との取合い部はバックボード塞ぎ又はスチール部材による塞ぎとし、詳細は別詳細図による。					

(設計者等表示欄)

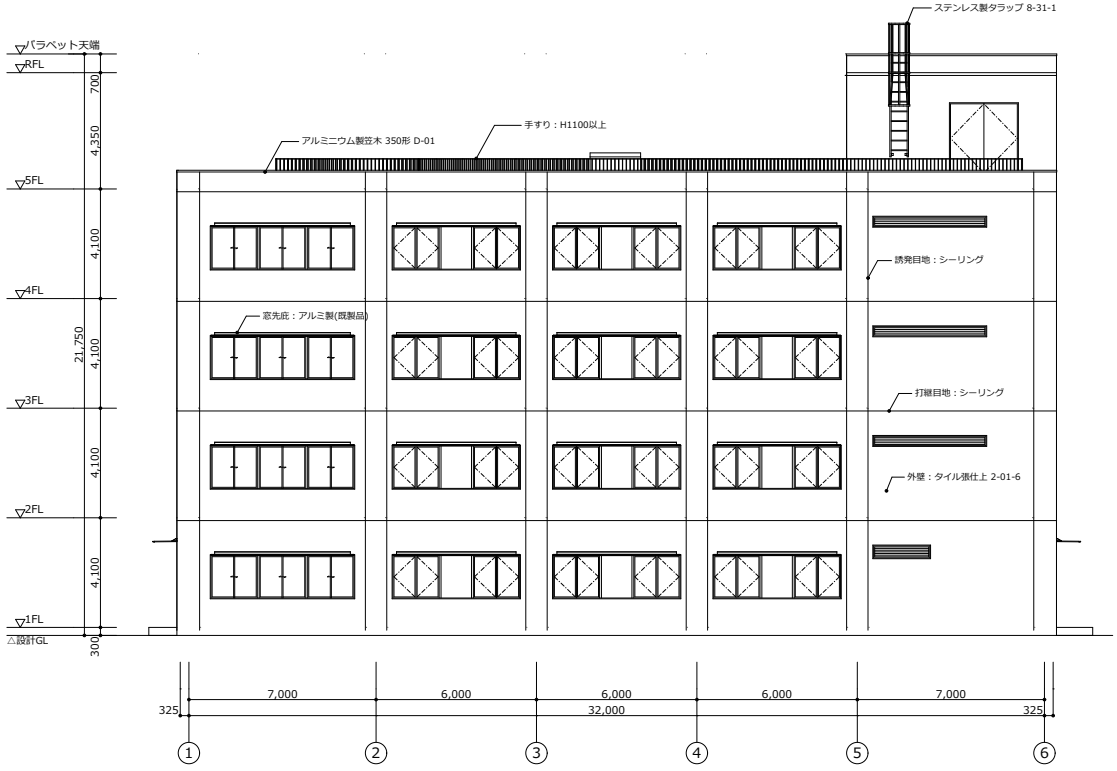
R6官庁営繕BIM建築工事		A-102
2階・3階平面図	S=A1:1/100 A3:1/200	R6年版
国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX



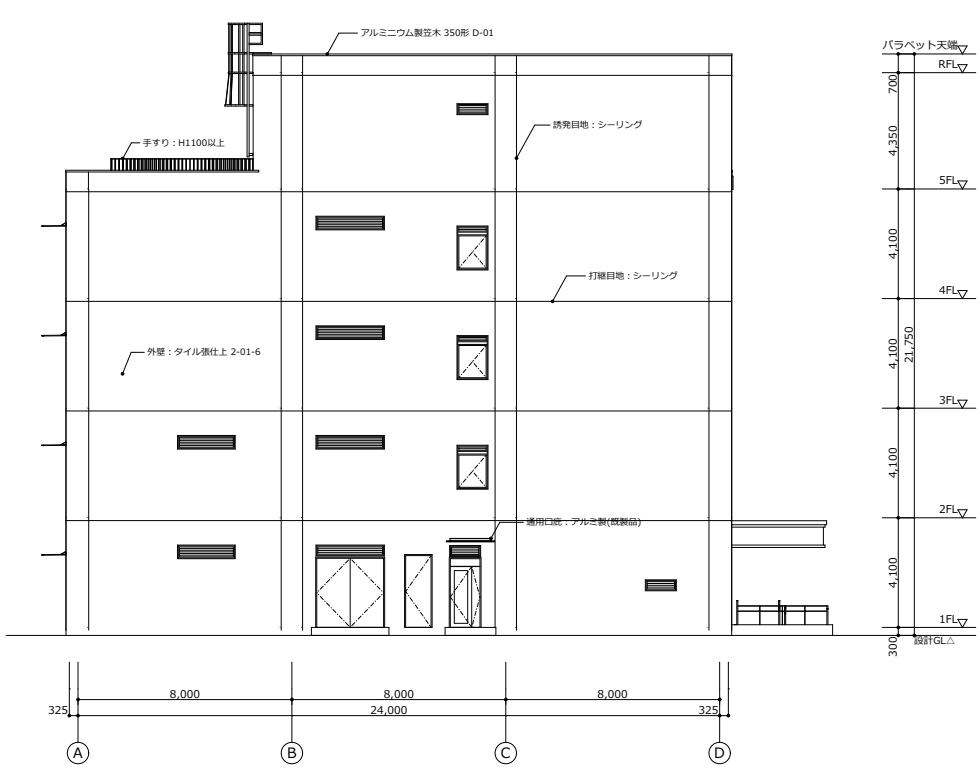
凡例											
	W1	LGS壁乾式1時間耐火	W5	GL工法(外壁の仕上内壁はW5とする)	▽	室名札(8-43-3)	○DP	たてどい Φ75	☒	床点検口	
	W2	LGS壁乾式1時間耐火(遮音壁)	RC	RC	◇	ピクトサイン	▭	線状ブロック	▨	ステンレス製タラップ W400 4段	
	W3	LGS+ボード2枚張	PT	スチールパーティション	☒	消火器ボックス	○	点状ブロック			
	W4	LGS+ボード2枚張(遮音壁)	一般壁：LGSはスラブ-スラブ、ボードはスラブ-天井とする 遮音壁・耐火壁：LGS-ボード共にスラブ-スラブとする		⊕	ルーフドレン	外部建具と内部乾式壁との取合い部はバックボード塞ぎ又はスチール部材による塞ぎとし、詳細は別詳細図による。				

(設計者等表示欄)

R6官庁営繕BIM建築工事		A-103
4階・5階平面図	S=A1:1/100 A3:1/200	R6年版
国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX



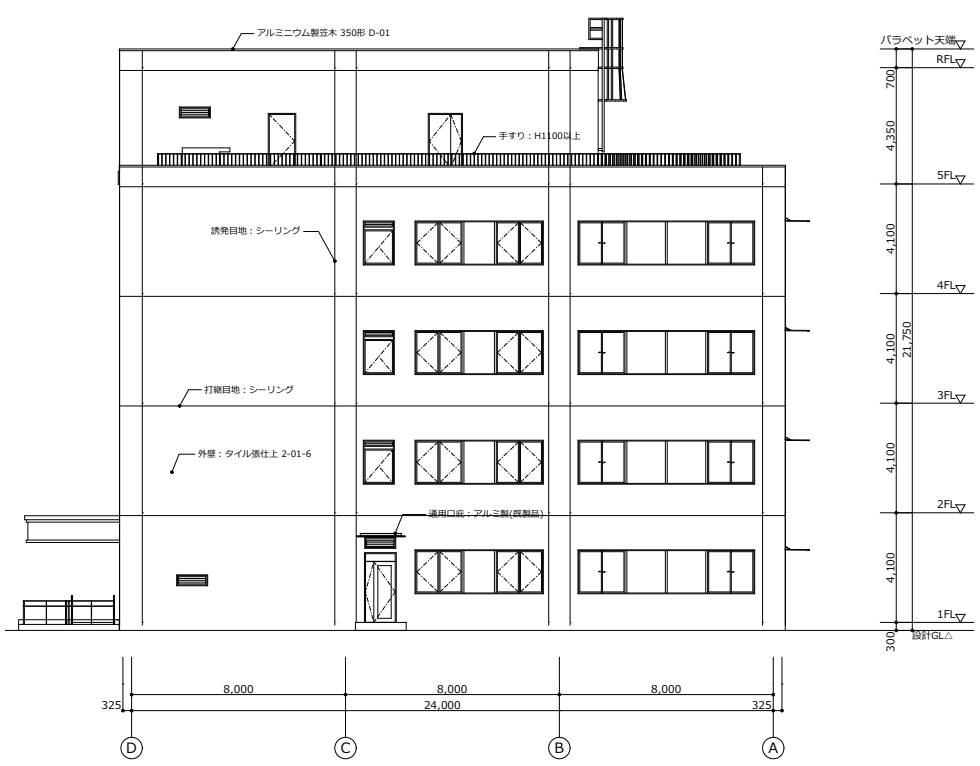
01 南立面図



02 東立面図

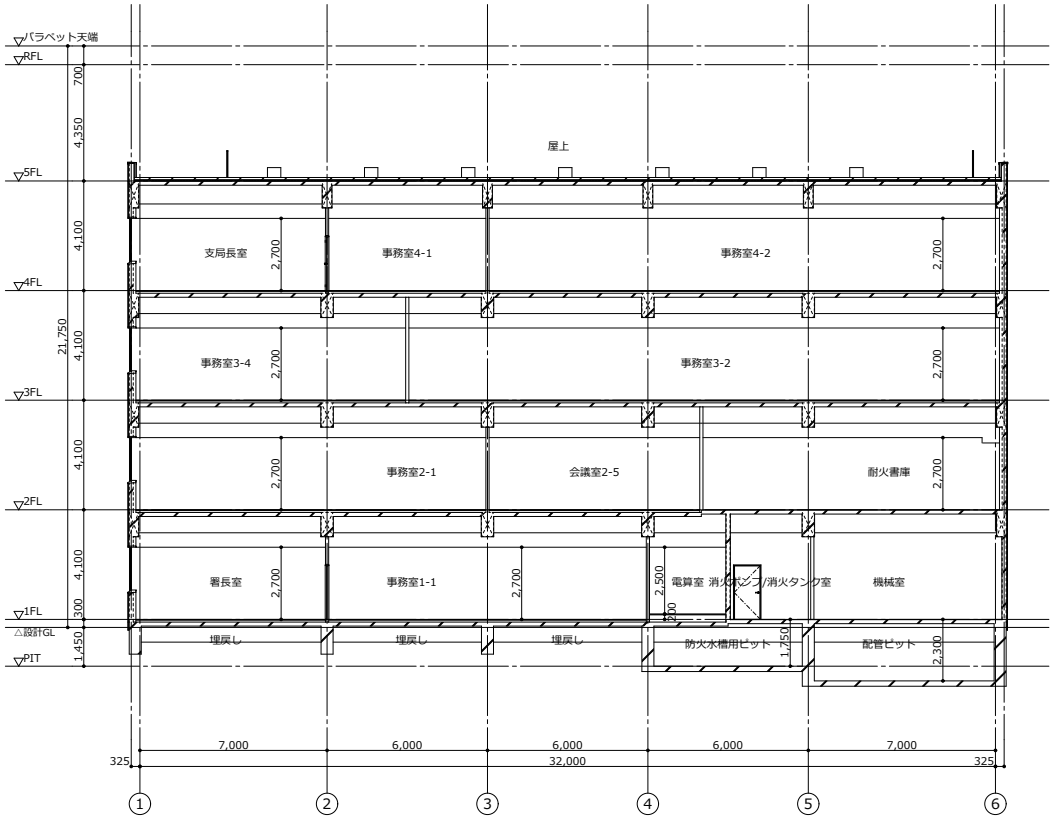
(設計者等表示欄)	R6官庁営繕BIM建築工事		A-110
	南・東立面図 S=A1:1/100 A3:1/200	R6年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX

01 北立面図

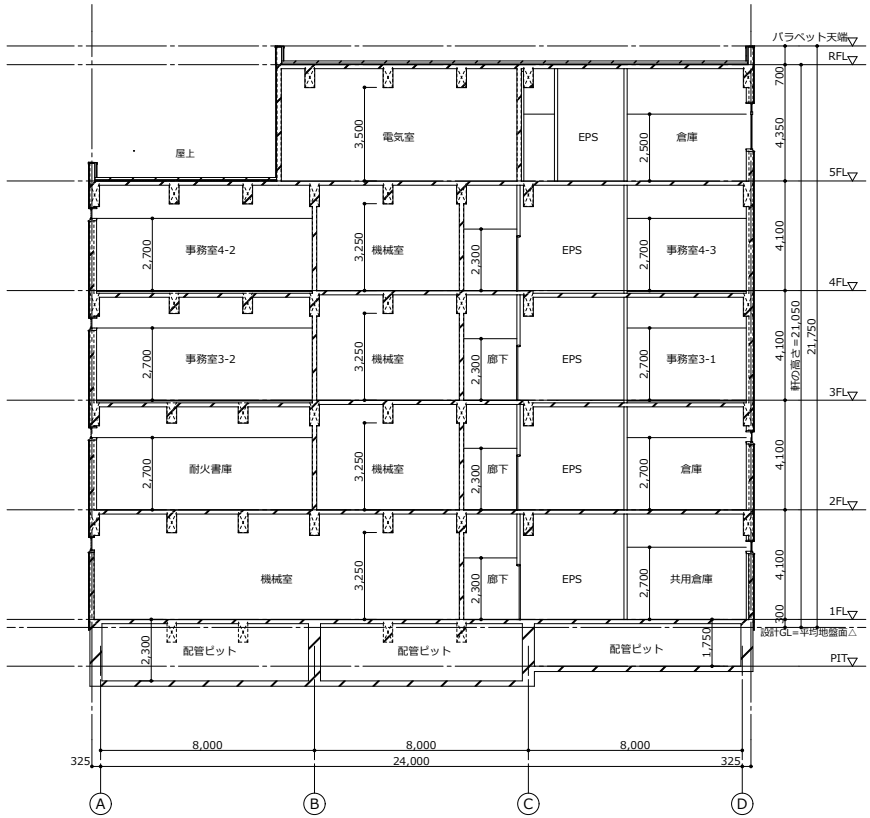


02 西立面図

(設計者等表示欄)	R6官庁営繕BIM建築工事		A-111
	北･西立面図 S=A1:1/100 A3:1/200	R6年版	XXX
	国土交通省大臣官房官庁営繕部		



01 A-A'断面図



02 B-B'断面図

(設計者等表示欄)	R6官庁営繕BIM建築工事	A-120
	断面図 S=A1:1/100 A3:1/200 R6年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部	XXX

共　通　事　項

表示略号

記載の（○－○○－○）内の数字は建築工事標準詳細図（令和4年版）の詳細番号を示す。

略号	建具	略号	ガラス
AD	アルミ製戸	P	フロート板ガラス
AW	アルミ製窓	F	型板ガラス
AG	アルミ製がらり	NF	網入型板ガラス
S	鋼製三方枠	WF	線入型板ガラス
SD	鋼製戸	NP	網入磨き板ガラス
SW	鋼製窓	WP	線入磨き板ガラス
SG	鋼製がらり	HAP	熱線吸収フロート板ガラス
SS	重量シャッター	T( )	強化ガラス（材料板ガラス）
LD	鋼製軽量戸	IG( )	複層ガラス（材料板ガラス）
LS	軽量シャッター	HR( )	熱線反射ガラス（材料板ガラス）
SSD	ステンレス製戸	DS( )	倍強度ガラス（材料板ガラス）
SSW	ステンレス製窓	L( )	合わせガラス（材料板ガラス）
SSG	ステンレス製がらり	Low-E	低放射ガラス
OHD	オーバーヘッドドア		
ACW	アルミ製カーテンウォール		
PD	樹脂製戸		
PW	樹脂製窓		
H	ふすま		
P	紙障子		
WD	木製戸		

平面図表示建具符号

扉見込み寸法(mm)の目安

鋼製戸(SD)及びステンレス製戸 （SSD）
40: H=2,400以下かつ扉一枚の幅＝1,050以下(4-47,48-1の防火戸：H=2,100の場合扉1枚の幅=1,300以下)
50: H=2,400超2,700以下、又は扉1枚の幅＝1,050超1,400以下(4-47,48-1の防火戸：H=2,400の場合扉1枚の幅＝2,300以下、H=2,600の場合扉1枚の幅=2,100以下)
60: H=2,700超2,900以下、かつ扉1枚の幅＝1,050超1,400以下(4-47,48-1の防火戸：H=3,000の場合扉1枚の幅＝3,600以下)
鋼製軽量戸(LD)
36（製造所によっては40）
木製戸(WD)
30: H=1,000未満、扉1枚の幅＝950以下
36: H=2,000未満、扉1枚の幅＝950以下
40: H=2,400未満、扉一枚の幅＝950以下

形　状

(1) 鋼製戸(SD)のうち、点検扉は特記以外は片面フラッシュ戸とする。
(2) 鋼製戸(SD)及び鋼製軽量戸(LD)のドアガラリは、鋼板 t=1.2（防火戸の場合 t=1.6 ダンパー付）とする。
(3) 排煙窓の適用は「備考」欄による。
(4) 特殊な性能（簡易気密、防音、断熱、耐震等）の建具の適用は「建具性能」欄、もしくは特記仕様書による。
(5) 水切りの幅は、「備考」欄による。

仕上げ

(1) 特記以外の鉄鋼面は、合成樹脂調合ペイント塗り　（F☆☆☆☆）とする。
(2) ふすまの上張りの種類は、「備考」欄による。

建具金物

(1) ドアクローザーの適用は、建具表により、取付は原則として室内側とする。
(2) 壁当たりとなる開き戸は、壁面からの逃げ寸法を100mm程度とし、ドアクローザーの有無にかかわらず戸当たりを設ける。
(3) クレセント及び排煙窓の操作レバーの位置は、床面から1,500mm以下とする。
(4) 扉の把手は、原則としてレバーハンドルとし、握り玉の適用は「建具金物」欄による。
(5) 扉の把手類の取付位置は、床面から1,000mmとし、押板類は1,100mmとする。
(6) 自動ドアのセンサーの適用は、備考欄による。
(7) 防犯建物部品は、「備考」欄による。
(8) 下表以外の建具金物は、「建具金物」欄による。ただし、既製建具は製造所の指定するものとする。

外部	一般扉	丁番、 シリンダー箱錠（片面サムターン）
	自由開き扉	フロアヒンジ（片自由、ストップ付き）、シリンダー本締り錠（片面サムターン）、押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.2B仕上）（L≒400）程度
	自動ドア（スライディングドア）	引戸用本締り錠（片面サムターン）
内部	一般室	ピボットヒンジ、シリンダー箱錠（片面サムターン）
	湯沸室	ピボットヒンジ、錠なし
	便所、洗面所	ピボットヒンジ、錠なし 押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.2B仕上）（L≒400）程度
	鋼製軽量自閉装置付引戸	自閉・制御装置（ストップ付）、ステンレス製振れ止め軸 表示装置・非常開装置・大型サムターン付引き戸錠（ロッド式） 押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.2B仕上）（L≒400）程度
	随時閉鎖式防火戸	ピンジクローザー（ピボット型、ストップなし）、ケースハンドル錠
	点検扉	軸吊化ヒンジ、点検C錠
	自由開き扉	押棒（引手）（内外共）はステンレス押棒（HL又はNo.2B仕上）（L≒400）程度
	窓	クレセント

防火戸

(1) ヒューズ装置、熱感知器、煙感知器との連動は「備考」欄による。
(2) 防火戸の種類は下表により、適用は「防火戸の種類」欄による。

種類		性　能
特	特定防火設備（遮炎1時間）	耐火建築物及び準耐火建築物（以下「耐火建築物等」という）の各階において、特定の床面積以内ごとに設ける防火設備
		11階以上の各階において内装に不燃又は準不燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備
		耐火建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備
防	防火設備（遮炎20分）	耐火建築物等の外壁に設ける防火設備
		防火地域及び準防火地域以外の建築物の外壁に設ける防火設備
		11階以上の各階において内装に難燃材料を用いた場合に、特定の床面積ごとに設ける防火設備
		準耐火建築物に形成された竪穴の周囲に設ける防火設備
		木造建築物等において用途が異なる部分の相互間に設ける防火設備

自動ドア開閉装置

(1) 自動ドアの開閉装置は、防錆性能、凍結防止装置の適用と共に「備考」欄による。
(2) センサーの種類は、「備考」欄による。

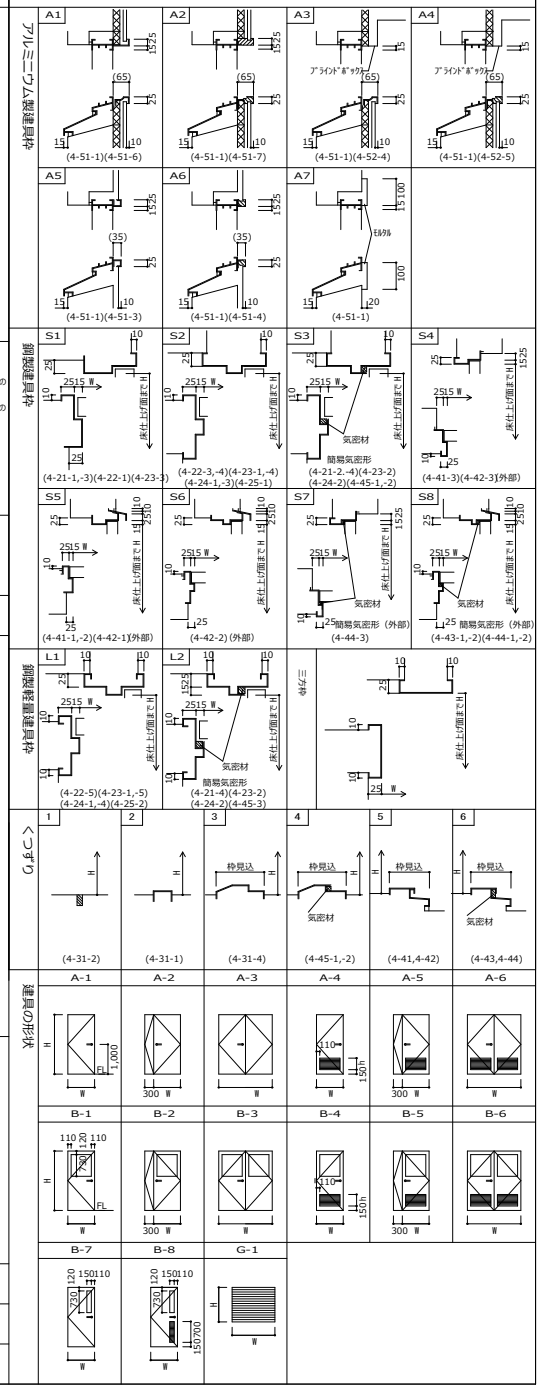
車椅子使用者用便所の引き戸

※(6-27-1) ・ (6-27-2) ・図示による

防火・防煙シャッター

※(4-49-1) ・図示による

建具枠・くつずり詳細図



(設計者等表示欄)

R6官庁営繕BIM建築工事		A-400
建具共通事項	S=A1: A3: R6年版	
国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX

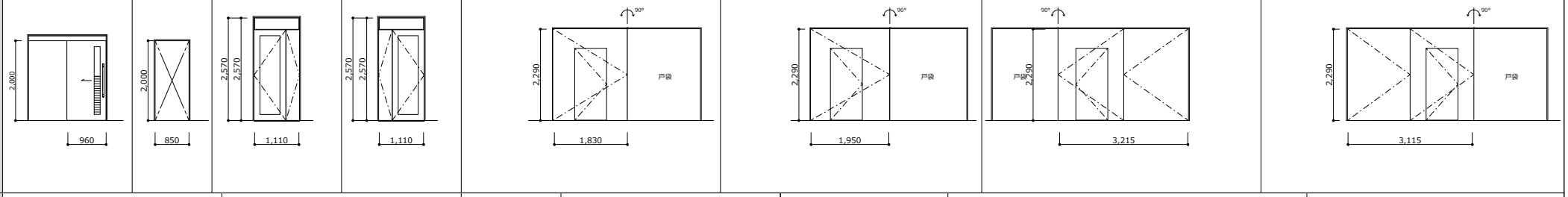
【別紙３】

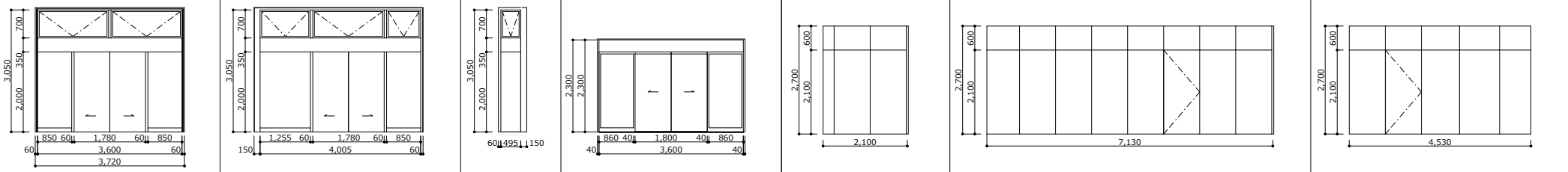
建具表_ドア

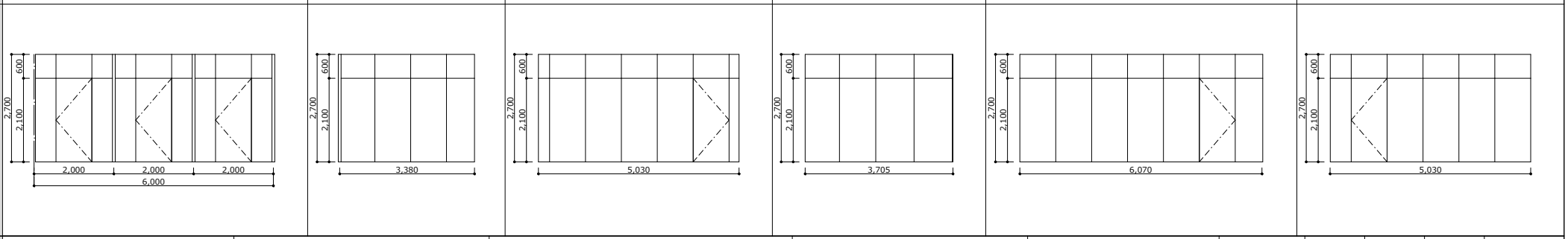
	建具符号	姿図番号	建具分類	数量	建具主寸法		建具性能				枠				くつずり			扉		ガラス				ガラリ					金物セット	ハンドル・錠類					丁番	裏丁番	ピボットヒンジ	オートヒンジ（防火戸用）	ドアクローザー隠蔽型	ドアクローザー露出型	フロアヒンジ	自閉式上吊り引戸装置	誘導灯開口	備考（フィルム張り、防犯建具部品、指詰め防止機構等）
																														ハンドル把手類		錠形式												
					W	H	防火性能	遮音性能	気密性能	その他	形状	見込	材質	仕上	形状	材質	仕上	厚さ	仕上	種類	厚み	W	H	形状	材質	仕上	W	H		外	内	外	内	錠の種類										
LD																																											
	LD-01	図示	外付け枠カーム扉	4	960	2,000	[不]					壁厚+20								F	6								07_内部：鋼製軽量自閉 装置付引戸	押棒	押棒	表示錠・非常開装置	大型サムターン	引戸錠								○		
	LD-02	A-2	両開き親子扉	20	1,200	2,000	[不]				S-2	壁厚+20			2														04_内部：一般室	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠			○						
	LD-03	A-1	片開き扉	19	950	2,000	[不]				S-2	壁厚+20			2														04_内部：一般室	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠			○						
	LD-04	A-3	両開き扉	5	1,900	2,000	[不]				S-2	壁厚+20			2														04_内部：一般室	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠			○						
	LD-05	A-3	両開き扉	4	900	2,000	[不]					壁厚+20																	09_内部：点検扉					点検扉錠									
	LD-06	A-1	片開き扉	4	800	2,000	[不]				S-2	壁厚+20			2														04_内部：一般室	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠			○						
S																																											
	S-01	図示	三方枠	8	850	2,000	-					壁厚+20																	（なし）														
SD																																											
	SD-01a	図示	両開き親子扉 上部嵌め殺し窓	1	1,110	2,570	-				S-1	壁厚+20			5					NP	6.8								01_外部：一般扉	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠	○									順位調整器
	SD-01b	図示	両開き親子扉 上部嵌め殺し窓	1	1,110	2,570	防				S-1	壁厚+20			5					T	8								01_外部：一般扉	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠	○									順位調整器
	SD-02	A-3	両開き扉	2	2,500	2,585	防				S-1	壁厚+20			5														01_外部：一般扉	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠	○									順位調整器
	SD-03a	A-3	両開き扉	1	1,600	2,300	[特]1				S-1	壁厚+20			3														04_内部：一般室	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠			○							順位調整器
	SD-03b	A-3	両開き扉	3	1,600	2,300	[不]				S-1	壁厚+20			3														04_内部：一般室	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠			○							順位調整器
	SD-03c	A-3	両開き扉	1	1,600	2,300	[防]1				S-1	壁厚+20			3														04_内部：一般室	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠			○							順位調整器
	SD-04a	A-1	片開き扉	1	950	2,000	[特]2				S-2	壁厚+20			3														04_内部：一般室	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠			○							
	SD-04b	A-1	片開き扉	2	950	2,000	[不]				S-2	壁厚+20			3														04_内部：一般室	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠			○							
	SD-04c	A-1	片開き扉	1	950	2,000	-				S-2	壁厚+20			3														01_外部：一般扉	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠	○									
	SD-05	図示	防火扉	1	1,830	2,290	(特)2																						（なし）															煙感知器連動、遮煙性能付
	SD-06	A-1	片開き扉	1	950	2,685	防				S-2	壁厚+20			3														01_外部：一般扉	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠	○									
	SD-07	A-1	片開き扉	4	600	2,000	-				S-2	壁厚+20			3														09_内部：点検扉					点検扉錠									
	SD-08	A-3	両開き扉	1	1,800	2,000	-					壁厚+20																	09_内部：点検扉					点検扉錠									煙感知器連動、遮煙性能付
	SD-09	A-2	両開き親子扉	1	1,200	2,000	-				S-1	壁厚+20			5					T	8								01_外部：一般扉	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠	○									順位調整器
	SD-10	A-2	両開き親子扉	1	1,200	2,000	[特]2				S-1	壁厚+20			3					T	8								04_内部：一般室	レバーハンドル	レバーハンドル	シリンダー	サムターン	箱錠			○							順位調整器
	SD-11	図示	防火扉	1	1,950	2,290	(特)2																						（なし）															煙感知器連動、遮煙性能付
	SD-12	図示	防火扉	3	3,215	2,290	(特)2																						（なし）															煙感知器連動、遮煙性能付
	SD-13	図示	防火扉	3	3,115	2,290	(特)2																						（なし）															煙感知器連動、遮煙性能付
SSD																																											
	SSD-01a	図示	両引自動扉・上部外倒し窓	1	3,600	3,050	-													T	8								03_外部：自動ドア			シリンダー	サムターン	引戸用本締錠									防錆、光線(反射)スイッチ、衝突防止シールφ30(両面)
	SSD-01b	図示	両引自動扉・上部外倒し窓	1	4,005	3,050	-													T	8								03_外部：自動ドア			シリンダー	サムターン	引戸用本締錠									防錆、光線(反射)スイッチ、衝突防止シールφ30(両面)
	SSD-01c	図示	嵌め殺し窓・上部外倒し窓	1	495	3,050	-													T	8								11_内部：窓															防錆、衝突防止シールφ30(両面)
	SSD-02	図示	両引自動扉	1	3,600	2,300	[不]													T	8								03_外部：自動ドア			シリンダー	サムターン	引戸用本締錠									

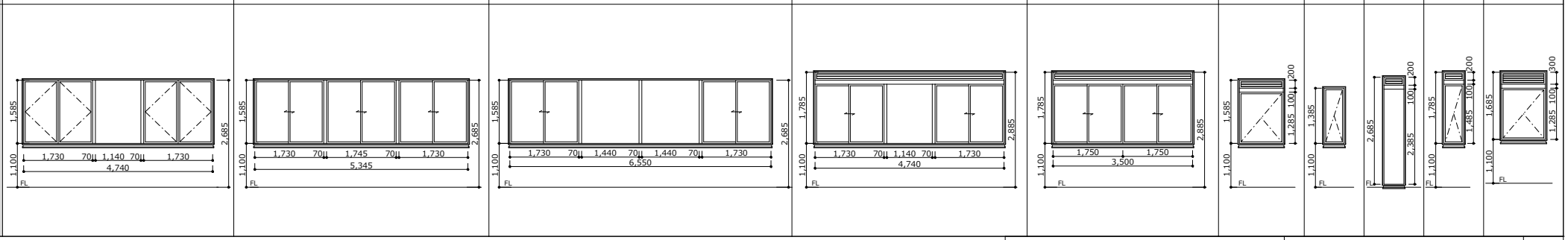
	建具符号	姿図番号	建具分類	個数	建具主寸法		建具性能				枠			ガラス		ガラリ形状	腰板			額縁			水切板			備考
					W	H	防火性能	遮音性能	気密性能	その他	形状	仕上	見込	種類	厚さ		材質	仕上	寸法	材質	仕上	寸法	材質	仕上	寸法	
AG																										
	AG-01	G-1	横型ガラリ（開口率30%）	3	2,100	450	防				A-7															付属金物一式
	AG-02	G-1	横型ガラリ（開口率30%）	3	4,200	350	防				A-7															付属金物一式
	AG-03	G-1	横型ガラリ（開口率30%）	1	2,500	350	-				A-7															付属金物一式
	AG-04	G-1	横型ガラリ（開口率30%）	6	1,100	350	-				A-7															付属金物一式
	AG-05	G-1	横型ガラリ（開口率30%）	2	1,100	350	防				A-7															付属金物一式
	AG-06	G-1	横型ガラリ（開口率30%）	3	2,500	450	-				A-7															付属金物一式
	AG-07	G-1	横型ガラリ（開口率30%）	6	1,600	200	-				A-7															付属金物一式
AW																										
	AW-01	図示	両側引違窓中央嵌め殺し窓	16	4,740	1,585	防				A-3		100	IG(Low-E+A+NP)	5+12+6.8											付属金物一式
	AW-02	図示	3連窓引違窓	4	5,345	1,585	防				A-3		100	IG(Low-E+A+NP)	5+12+6.8											付属金物一式
	AW-03	図示	両側引違窓中央嵌め殺し窓	4	6,550	1,585	防				A-3		100	IG(Low-E+A+NP)	5+12+6.8											付属金物一式
	AW-04	図示	両側引違窓中央嵌め殺し窓 上部ガラリ付	4	4,740	1,785	-				A-3		100	IG(Low-E+A+P)	5+12+5											付属金物一式、開口率30%
	AW-05	図示	両側引違窓 上部ガラリ付	3	3,500	1,785	-				A-3		100	IG(Low-E+A+P)	5+12+5											付属金物一式、開口率30%
	AW-06a	図示	辷出し窓 上部ガラリ付	3	1,100	1,585	-				A-1		100	IG(Low-E+A+P)	5+12+5											付属金物一式、開口率30%
	AW-06b	図示	辷出し窓 上部ガラリき	3	1,100	1,585	防				A-1		100	IG(Low-E+A+NP)	5+12+6.8											付属金物一式、開口率30%
	AW-07	図示	辷出し窓	3	500	1,385	-				A-1		100	IG(Low-E+A+P)	5+12+5											付属金物一式
	AW-08	図示	嵌め殺し窓 上部ガラリ付	2	500	2,685	-				A-1		100	IG(Low-E+A+P)	5+12+5											付属金物一式、開口率30%
	AW-09	図示	辷出し窓 上部ガラリ付	3	500	1,785	-				A-1		100	IG(Low-E+A+P)	5+12+5											付属金物一式、開口率30%
	AW-10	図示	辷出し窓 上部ガラリ付	1	1,100	1,685	-				A-1		100	IG(Low-E+A+NP)	5+12+6.8											付属金物一式、開口率30%

(設計者等表示欄)	R6官庁営繕BIM建築工事	A-401
	建具表-1　S=A1: A3:　R6年版	
	国土交通省大臣官房官庁営繕部	XXX

建具符号	LD-01	S-01	SD-01a	SD-01b	SD-05	SD-11	SD-12	SD-13
姿図								

建具符号	SSD-01a	SSD-01b	SSD-01c	SSD-02	PT-1a	PT-1b	PT-2
姿図							

建具符号	PT-3a	PT-3b	PT-4	PT-5	PT-6	PT-7
姿図						

建具符号	AW-01	AW-02	AW-03	AW-04	AW-05	AW-06a	AW-07	AW-08	AW-09	AW-10
姿図										

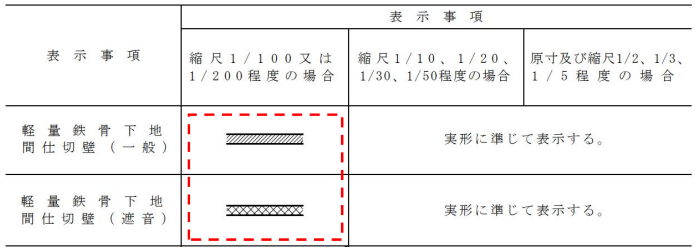
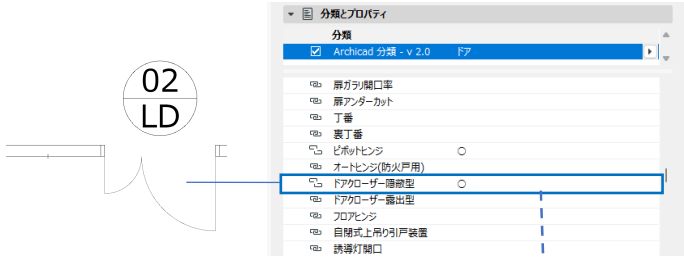
(設計者等表示欄)

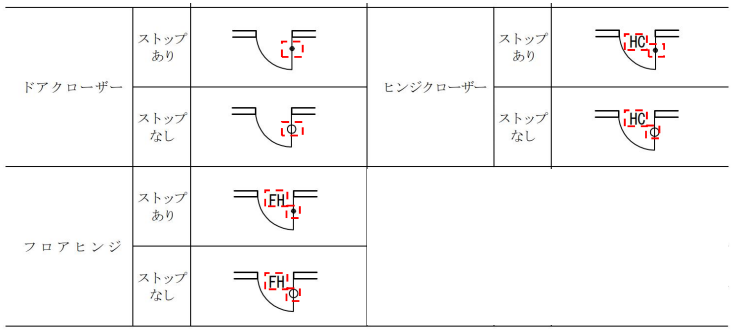
R6官庁営繕BIM建築工事		A-402
建具表-2	S=A1: A3: R6年版	
国土交通省大臣官房官庁営繕部		XXX

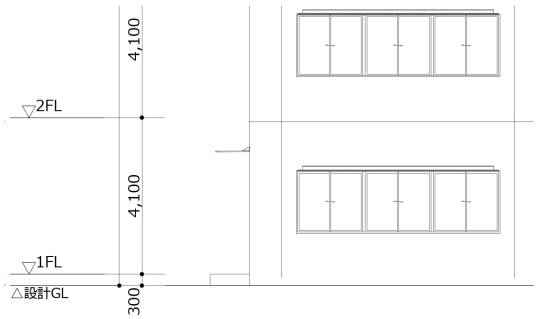
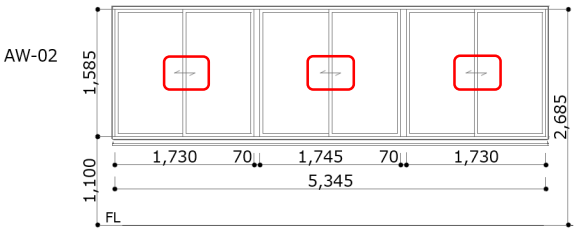
【別紙３】

BIMソフトウェアによる合理的な図面表記

<table>
<tr><th>番号</th><th>項目</th><th>BIMソフトウェアによる合理的な図面表記</th><th>（参考）建築工事設計図書作成基準</th></tr>
<tr>
<td>1</td>
<td>壁種の
表示記号</td>
<td>平面図における壁種の表示について、ハッチングに代えて記号により壁種を区分する。壁種記号を壁近傍に配置し、凡例において壁種記号に対応した壁種を表示する。壁種記号は、壁要素の属性情報が反映されるように設定する。

<table>
<tr><td rowspan="4">凡例</td><td>W1</td><td>LGS壁乾式1時間耐火</td><td>W5</td><td>GL工法(外壁の仕上内壁はW5とする)</td></tr>
<tr><td>W2</td><td>LGS壁乾式1時間耐火(遮音壁)</td><td>RC</td><td>RC</td></tr>
<tr><td>W3</td><td>LGS+ボード2枚張</td><td>PT</td><td>スチールパーティション</td></tr>
<tr><td>W4</td><td>LGS+ボード2枚張(遮音壁)</td><td colspan="2">一般壁：LGSはスラブ-スラブ、ボードはスラブ-天井とする
遮音壁・耐火壁：LGS・ボード共にスラブ-スラブとする</td></tr>
</table>
</td>
<td>別表２　材料構造表示記号（図中赤枠部分）
ハッチング表示について、壁種が多い場合、壁中心線と重なる場合に視認しやすく表示するための設定は困難な場合がある。また、複数の尺度で視認しやすくするための設定は困難な場合がある。
 
<table>
<tr><td rowspan="2">表示事項</td><td colspan="3">表示事項</td></tr>
<tr><td>縮尺1/100又は1/200程度の場合</td><td>縮尺1/10、1/20、1/30、1/50程度の場合</td><td>原寸及び縮尺1/2、1/3、1/5程度の場合</td></tr>
<tr><td>軽量鉄骨下地間仕切壁（一般）</td><td></td><td colspan="2">実形に準じて表示する。</td></tr>
<tr><td>軽量鉄骨下地間仕切壁（遮音）</td><td></td><td colspan="2">実形に準じて表示する。</td></tr>
</table>
</td>
</tr>
<tr>
<td>2</td>
<td>建具の
表示記号</td>
<td>建具の付属金物等について、平面図への表示に代えて建具表に表示する。建具表に表示する情報は、ドアオブジェクトの属性情報が反映されるように設定する。
 

建具表イメージ（親子扉にドアクローザーを適用させる場合）
<table>
<tr><th rowspan="2">建具符号</th><th rowspan="2">姿図番号</th><th rowspan="2">建具分類</th><th rowspan="2">数量</th><th colspan="2">建具主寸法</th><th rowspan="2">丁番</th><th rowspan="2">裏丁番</th><th rowspan="2">ピボットヒンジ</th><th rowspan="2">オートヒンジ(防火戸用)</th><th rowspan="2">ドアクローザー隠蔽型</th><th rowspan="2">ドアクローザー露出型</th><th rowspan="2">フロアヒンジ</th><th rowspan="2">自閉式上吊り引戸装置</th><th rowspan="2">誘導灯開口</th></tr>
<tr><th>W</th><th>H</th></tr>
<tr><td colspan="16">LD</td></tr>
<tr><td>LD-02</td><td>A-2</td><td>両開き親子扉</td><td>20</td><td>1,200</td><td>2,000</td><td></td><td></td><td>○</td><td></td><td>○</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr>
</table>
</td>
<td>別表１　平面表示記号（図中赤枠分）
表示記号を、ドアのオブジェクトと連動して所定の位置に表示するための設定、複数の尺度で視認しやすく表示するための設定は難易度が高い。
 
<table>
<tr><td rowspan="2">ドアクローザー</td><td>ストップあり</td><td></td><td rowspan="2">ヒンジクローザー</td><td>ストップあり</td><td></td></tr>
<tr><td>ストップなし</td><td></td><td>ストップなし</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">フロアヒンジ</td><td>ストップあり</td><td></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td><td rowspan="2"></td></tr>
<tr><td>ストップなし</td><td></td></tr>
</table>
</td>
</tr>
</table>

番号	項目	BIMソフトウェアによる合理的な図面表記	（参考）建築工事設計図書作成基準
3	建具開閉 表示記号	建具開閉表示記号について、建具表の形状図に表示することとし、立面図への表示は任意とする。 ■立面図  ■姿図  	別表３　建具開閉表示記号（図中赤枠部分） 表示記号を、窓のオブジェクトと連動して所定の位置に表示するための設定、複数の尺度で視認しやすくするための設定は難易度が高い。 別表3　建具開閉表示記号 表示事項 / 表示記号 / 表示事項 / 表示記号 両開き / アコーディオンドア 親子 / 回転 縦軸 片開き / 回転 横軸 両引き / はめころし FIX 引違い / すべりだし 縦軸 片引き（Ⅰ）片面がFIXのとき FIX / すべりだし 横軸 片引き（Ⅱ） / 内倒し 内 引込 壁内に戸袋がある場合 / 外倒し 外 シャッター / つきだし オーバーヘッドドア OHD / 上げ下げ 折戸 表示は片引き3枚折戸を示す / バランス B